

3. 安全フレーム・シートベルト装備の徹底

(1) キャビン、ロプスによる安全域の確保



機械の転落転倒時に安全域が確保され、死亡事故に最もつながりにくい。

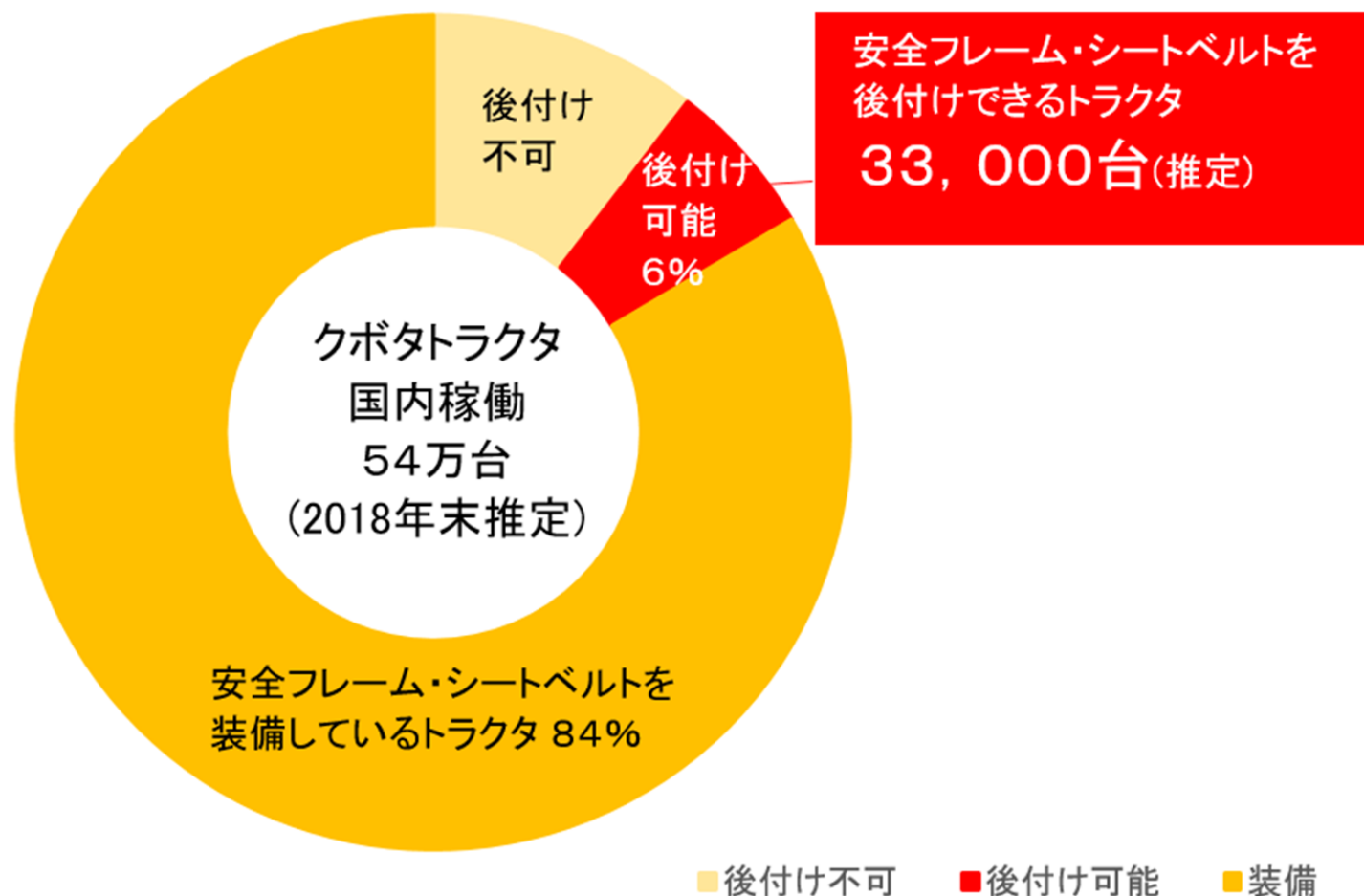
機械の転落転倒時に安全域が確保され、死亡事故につながりにくい。
安全域に留まるためにシートベルトの装着が特に重要。

機械の転落転倒時の安全域がなく、死亡事故につながる危険性が高い。

3. 安全フレーム・シートベルト装備の徹底

(2) 稼働中トラクタの状況

国内で稼働しているトラクタの安全フレーム・シートベルト装備状況



3. 安全フレーム・シートベルト装備の徹底

(3) 稼働中トラクタへの後付け活動

R2年春スタート

安全フレーム・シートベルトが後付けできるトラクタ用キットを復刻し、使用過程トラクタのユーザーに¥10,000(組付け費込み、税別)で販売し装着していく



キットが後付けできるトラクタ
GL(初代)、
GT(初代)
A(アステ、アステファイブ)



4. スマート農業と農作業安全の推進

(1) スマート農業の効果

1 超省力・大規模生産を実現



GPS自動走行システム等の導入による
農業機械の夜間走行・複数走行・
自動走行等で、作業能力の限界を打破

2 作物の能力を最大限に発揮



センシング技術や過去のデータに基づく
きめ細やかな栽培により(精密農業)、
作物のポテンシャルを最大限に引き出し
多収・高品質を実現

3 きつい作業、危険な作業から解放



収穫物の積み下ろしなどの重労働を
アシストスーツで軽労化するほか、
除草ロボットなどにより作業を自動化

4 誰もが取り組みやすい農業を実現



農業機械のアシスト装置により経験の浅い
オペレーターでも高精度の作業が可能となる
ほか、ノウハウをデータ化することで若者等が
農業に続々とトライ

5 消費者・実需者に安心と信頼を提 供



クラウドシステムにより、生産の詳し
い情報を実需者や消費者にダイレク
トにつなげ、安心と信頼を届ける

(農林水産省資料から抜粋)

4. スマート農業と農作業安全の推進

(2) 自動運転技術

自動運転技術を搭載したロボット農機を開発・販売



アグリロボコンバイン
(2019年12月発売)



アグリロボトラクタ
(2019年12月発売)



アグリロボ田植機
(2020年10月発売予定)

4. スマート農業と農作業安全の推進

(3) ラジコン草刈機・ドローン



小型ラジコン操作草刈り機
40度の法面で安定作業が可能
刈り幅 50cm



- 全長m×高さm×重量kg;
1.6m×0.5m×23kg
- 1回の飛行で1haに農薬散布が可能

5. まとめ

農作業安全の呼びかけ・研修活動



AS金沢事務所で開催された
安全研修・講習会

安全フレーム・シートベルトで 安全域確保



先端技術を活用した安全対策

レーザースキャナ、ソナーによる障害物検知

レーザースキャナ



超音波ソナー



通知画面例



- ① 圃場内の障害物を検知して停止
- ② トラクタの自動走行誤発進を防止
- ③ ターミナル画面への通知

ありがとうございました。



Beyond 130

For Earth, For Life
Kubota